

# 食品安全情報（微生物） No.7 / 2023（2023.03.29）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

---

## 目次

### [【米国疾病予防管理センター（US CDC）】](#)

1. 冷凍の有機栽培イチゴに関連して発生している A 型肝炎アウトブレイク（2023 年 3 月 13 日付情報）
2. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella* Enteritidis、*S. Hadar*、*S. I 4,[5],12:i:-*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Typhimurium*、*S. Mbandaka*）感染アウトブレイク（2022 年 11 月 10 日付最終更新）

### [【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】](#)

1. サルモネラ症 — 2018 年次疫学報告書

### [【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】](#)

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

### [【欧州食品安全機関（EFSA）】](#)

1. 牛海綿状脳症（BSE）および伝達性海綿状脳症（TSE）に関する科学ネットワークの 2022 年次報告書

### [【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】](#)

1. アイルランドでノロウイルス感染患者数が増加傾向

### [【ProMED-mail】](#)

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（07）
-

## 【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)  
<https://www.cdc.gov/>

### 1. 冷凍の有機栽培イチゴに関連して発生している A 型肝炎アウトブレイク (2023 年 3 月 13 日付情報)

Outbreak of Hepatitis A Virus Infections Linked to Frozen Organic Strawberries

As of March 13, 2023

<https://www.cdc.gov/hepatitis/outbreaks/2023/hav-contaminated-food/index.htm>

米国疾病予防管理センター (US CDC)、ワシントン州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、バハ・カリフォルニア州 (メキシコ) の特定の複数の農場から 1 供給業者により輸入された冷凍有機栽培イチゴに関連して発生している A 型肝炎アウトブレイクを調査している。当該イチゴは様々な小売業者に複数のブランド名で供給された可能性がある。追跡・疫学調査から、本アウトブレイクに関連したワシントン州の複数の患者が、発症前に同一の小売ブランドの冷凍有機栽培イチゴを購入していたことが示された。

2023 年 3 月 13 日までに、本アウトブレイクに関連してワシントン州から計 5 人の A 型肝炎患者が報告されている。

患者の発症日は 2022 年 11 月 24 日～12 月 27 日である。患者の年齢範囲は 38～61 歳、年齢中央値は 52 歳で、40%が女性である。情報が得られた患者 5 人のうち 2 人 (40%) が入院した。死亡者は報告されていない。

#### ○ アウトブレイク調査

疫学・追跡調査で得られたエビデンスは、2022 年にバハ・カリフォルニア州 (メキシコ) の特定の複数の農場から生鮮状態で輸入された冷凍有機栽培イチゴが本アウトブレイクの感染源である可能性が高いことを示している。本アウトブレイクの原因株は、2022 年に有機栽培の生鮮イチゴに関連して発生した食品由来 A 型肝炎アウトブレイク (食品安全情報 (微生物) No.20/2022 (2022.09.28) US CDC 記事参照) の原因株と遺伝学的に同一の株であり、当該生鮮イチゴはメキシコのバハ・カリフォルニア州から輸入され米国内の様々な小売業者に販売されたものであった。

患者の発症前 2～7 週間の食品喫食歴およびその他の曝露歴について聞き取り調査が実施された。聞き取りが行われた患者全員が冷凍の有機栽培イチゴの喫食を報告した。この割合は、CDC が過去に実施した健康な人に対する調査 (以下 Web ページ参照) において回答者の 24%が調査日前 1 週間以内に冷凍ベリー類を喫食したと報告した結果と比べ有意に高

かった。

<https://www.cdc.gov/Foodnetfast/PopSurvey>

この調査の結果を受け、California Splendor 社（カリフォルニア州サンディエゴ）は、カリフォルニア州ロサンゼルス、ハワイ州、およびカリフォルニア州サンディエゴ（2カ所のビジネスセンター）にある小売チェーン Costco の店舗で販売された冷凍イチゴ「KIRKLAND Signature Frozen Organic Whole Strawberries」（4ポンド（約1.8kg）袋入り）の一部のロットコードの製品の自主回収を開始した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/california-splendor-inc-recalls-kirkland-brand-bags-frozen-organic-whole-strawberries-distributed>

同じく Scenic Fruit 社（オレゴン州 Gresham）は、小売チェーン Costco、Trader Joe's、Aldi、KeHE、Vital Choice Seafood、および PCC Community Markets の店舗のうち特定の州の店舗に販売された冷凍有機栽培イチゴの自主回収を開始した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/updated-scenic-fruit-company-recalls-frozen-organic-strawberries-and-frozen-organic-tropical-blend>

FDA は調査を継続しており、他の製品が回収対象に追加される可能性がある。

## 2. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella* Enteritidis、*S. Hadar*、*S. I 4,[5],12:i:-*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Typhimurium*、*S. Mbandaka*）感染アウトブレイク（2022年11月10日付最終更新）

*Salmonella* Outbreaks Linked to Backyard Poultry

Posted November 10, 2022

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-06-22/>

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-06-22/details.html> （ Investigation details）

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-06-22/map.html> （Map）

米国疾病予防管理センター（US CDC）および複数州の公衆衛生当局は、13州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella* Enteritidis、*S. Hadar*、*S. I 4,[5],12:i:-*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Typhimurium*、*S. Mbandaka*）感染アウトブレイクを調査した。

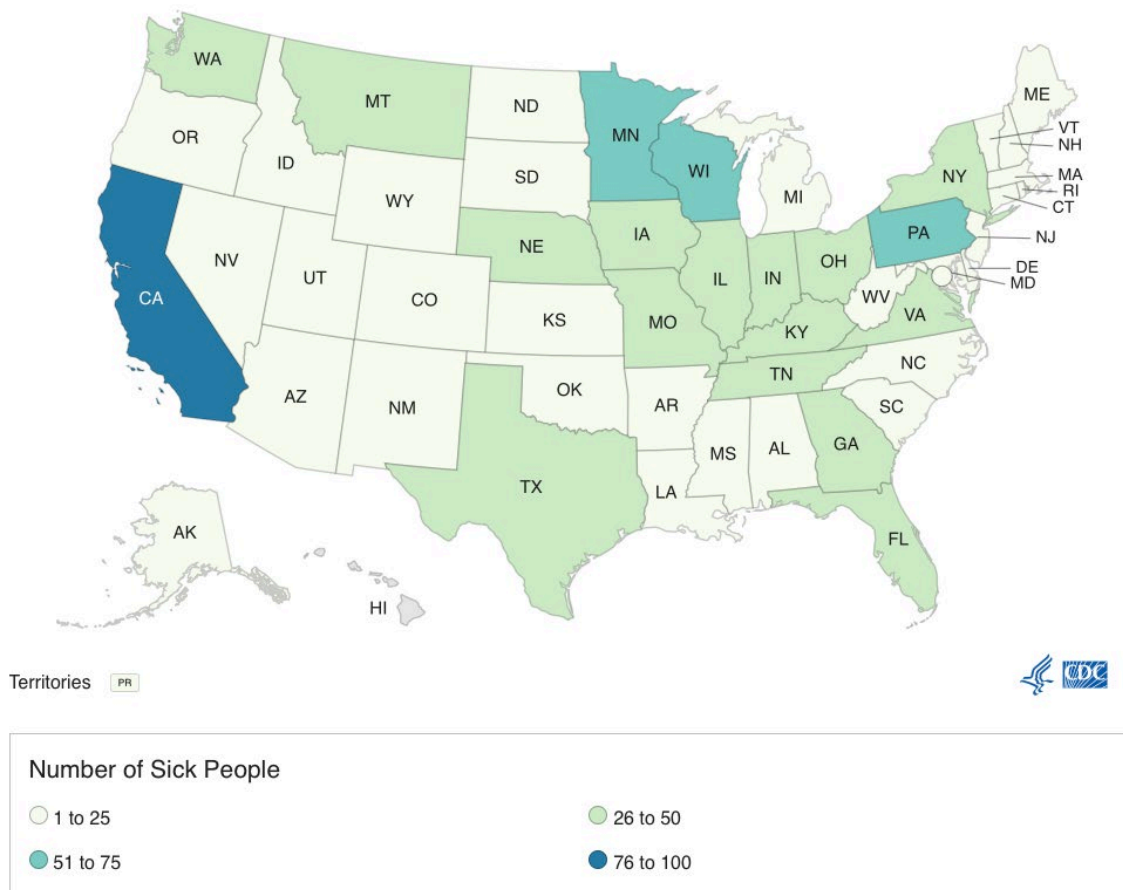
疫学・追跡調査および検査機関での検査から得られたデータは、小規模飼育の家禽類との接触が本アウトブレイクの患者の感染源であることを示した。

2022年11月10日時点で本アウトブレイク調査は終了している。

○ 疫学データ

2022年11月10日までに、サルモネラ (*S. Enteritidis*、*S. Hadar*、*S. I 4,[5],12:i:-*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Typhimurium*、*S. Mbandaka*) アウトブレイク株のいずれかに感染した患者計1,230人が49州、ワシントンD.C.およびプエルトリコから報告された(図)。患者の発症日は2022年2月12日～10月18日であった。

図:サルモネラ (*Salmonella Enteritidis*、*S. Hadar*、*S. I 4,[5],12:i:-*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Typhimurium*、*S. Mbandaka*) 感染アウトブレイクの居住州・自治連邦区別患者数(2022年11月10日時点の計1,230人)



患者の年齢範囲は1歳未満～102歳、年齢中央値は36歳で、患者のうち253人(21%)は5歳未満の小児であった。性別に関する情報が得られた患者1,202人のうち661人(55%)が女性であった。転帰に関する情報が得られた患者726人のうち230人(32%)が入院した。計2人の死亡者がテネシー州およびワイオミング州から1人ずつ報告された。

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前1週間に喫食した食品および接触した動物

に関する聞き取り調査を行った。聞き取りが実施された患者 737 人のうち、433 人 (59%) が小規模飼育の家禽類との接触を報告した。喫食に関する情報が得られた 507 人のうち、146 人 (29%) が小規模飼育の家禽類の卵の喫食を、14 人 (3%) が同じく肉の喫食を報告した。

#### ○ 追跡調査によるデータ

小規模飼育の家禽類の購入に関する情報が得られた患者 289 人のうち、216 人 (75%) が 2022 年 1 月 1 日以降に購入したと報告し、41 人が複数の店舗で家禽類を購入していた。当該家禽類の購入場所として、飼料販売店、フリーマーケット、オークションや農業関連イベント (4-H event) での購入、孵化場からの直接購入などが報告された。患者 15 人が直接購入していた孵化場は計 7 カ所であった。飼料販売店での購入については、50 社が所有する計 195 店舗が報告された。これらの飼料販売店に小規模飼育の家禽類を供給していた孵化場は少なくとも 10 カ所であった。今回のアウトブレイク全 13 件において当該家禽類に共通する単一の供給元は特定されなかった。

#### ○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用した。CDC の PulseNet 部門は、胃腸疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS (全ゲノムシーケンシング) 法により DNA フィンガープリンティングが行われる。

WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来サルモネラ分離株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この遺伝的近縁関係は、本アウトブレイクの患者が同じ種類の動物から感染した可能性が高いことを意味している。

ノースダコタ州、ニューメキシコ州、テネシー州およびウィスコンシン州の公衆衛生当局は、小売店舗および患者の自宅で採取した家禽類とその飼育環境由来検体から複数のサルモネラアウトブレイク株を検出した。

患者由来 1,225 検体、家禽類由来 15 検体および家禽類の飼育環境由来 14 検体から分離されたサルモネラ株について、抗菌剤耐性の存在を予測するため WGS 解析が実施された。その結果、計 1,254 株のうち 538 株 (42.9%) については、アモキシシリン/クラバン酸 (0.2%)、アンピシリン (1.8%)、セフォキシチン (0.2%)、セフトオフル (0.2%)、セフトリアキソン (0.2%)、クロラムフェニコール (0.1%)、シプロフロキサシン (16.4%)、ゲンタマイシン (0.8%)、カナマイシン (0.2%)、ナリジクス酸 (16.4%)、ストレプトマイシン (22.1%)、スルファメトキサゾール (2.1%)、テトラサイクリン (23.1%) およびトリメトプリム/スルファメトキサゾール (1.4%) のうちの 1 種類以上の抗生物質への耐性が予測された。残りの患者由来 694 株、家禽類由来 8 株および環境由来 14 株については抗生物質

耐性の存在は予測されなかった。これらの結果は、患者由来 5 検体から分離された株について CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) 検査部門が標準的な抗菌剤感受性試験法を用いて行った検査の結果により確認された (ストレプトマイシン、カナマイシンおよびセフトオフルは試験対象外)。サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要になった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療が困難になる可能性があり、別の抗生物質の選択が必要になることがある。

○ 公衆衛生上の措置

CDC は小規模飼育の家禽類の所有者に対し、自分自身の健康を保つため家禽類取扱い時の衛生手順 (以下 Web ページ参照) を遵守するよう繰り返し注意喚起を行っている。

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-06-22/index.html#steps>

CDC は家禽類を販売する孵化場や小売店と協力し、家禽類を初めて所有する人への啓発およびサルモネラ伝播防止に取り組んでいる。

(食品安全情報 (微生物) No.21/2022 (2022.10.12)、No.17/2022 (2022.08.17)、No.15/2022 (2022.07.20) No.13/2022 (2022.06.22) US CDC 記事参照)

---

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/>

サルモネラ症 — 2018 年次疫学報告書

Salmonellosis - Annual Epidemiological Report for 2018

9 Jan 2023

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/Salmonellosis-annual-epidemiological-report-2018.pdf> (報告書 PDF)

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/salmonellosis-annual-epidemiological-report-2018>

欧州疾病予防管理センター (ECDC) は、「サルモネラ症 — 2018 年次疫学報告書」を発表した。内容の一部を以下に紹介する。

## 主な内容

- ・ 欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）において、サルモネラ症は 2 番目に多く報告される胃腸感染症であり、食品由来疾患アウトブレイクの重要な原因の 1 つとなっている。
- ・ 2018 年は検査機関で確定したサルモネラ症患者計 92,881 人が報告され、このうち 121 人が死亡した。
- ・ EU/EEA 全体での人口 10 万人あたりの報告率は 20.0 であった。
- ・ サルモネラ症の報告率は長期にわたり下降傾向が継続した後、直近 6 年間はあまり変動していない。
- ・ 人口 10 万人あたりの患者報告率は 0～4 歳の小児で最も高く（94.9）、25～64 歳の成人の約 8 倍であった。

## 方法

本報告書は、2019 年 9 月 17 日に欧州サーベイランスシステム（TESSy）を検索して得られた 2018 年のデータにもとづいている。TESSy は、感染症に関するデータの収集・分析・発信を行うためのシステムである。

本報告書の作成方法の詳細、各国のサーベイランスシステムの概要、および本報告書の作成に使用されたデータのサブセットについては、ECDC の下記の各 URL から入手可能である。

<https://www.ecdc.europa.eu/en/surveillance-and-disease-data/annual-epidemiological-reports/introduction-annual>（方法の詳細、「Methods」の項目参照）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/surveillance-systems-overview-2019>  
（各国のサーベイランスシステムの概要）

<https://atlas.ecdc.europa.eu/public/index.aspx>（使用されたデータのサブセット入手先）

## 疫学的状況

本報告書の目的に鑑み、2018 年次報告書は図表のみを掲載する。

表 1：国別・年別のサルモネラ症確定患者数および人口 10 万人あたりの報告率（EU/EEA、2014～2018 年）

**Table 1. Distribution of confirmed salmonellosis cases and rates per 100 000 population by country and year, EU/EEA, 2014–2018**

Country	2014		2015		2016		2017		2018			
	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Confirmed cases	Rate	ASR	Reported cases
Austria	1 654	19.4	1 544	18.0	1 415	16.3	1 667	19.0	1 538	17.4	18.2	1 538
Belgium	2 698	-	3 050	27.1	2 699	23.9	2 298	20.2	2 958	26.0	24.9	2 958
Bulgaria	730	10.1	1 076	14.9	718	10.0	796	11.2	586	8.3	8.8	587
Croatia	1 494	35.2	1 593	37.7	1 240	29.6	1 242	29.9	1 323	32.2	33.3	1 345
Cyprus	88	10.3	65	7.7	77	9.1	59	6.9	44	5.1	5.2	44
Czechia	13 255	126.1	12 408	117.7	11 610	110.0	11 473	108.5	10 901	102.7	105.3	11 340
Denmark	1 124	20.0	925	16.3	1 081	18.9	1 067	18.6	1 168	20.2	20.0	1 168
Estonia	92	7.0	112	8.5	351	26.7	265	20.1	314	23.8	24.3	323
Finland	1 622	29.8	1 650	30.2	1 512	27.6	1 535	27.9	1 430	25.9	27.0	1 430
France	8 880	28.0	10 305	32.3	8 876	27.7	7 993	24.9	8 936	27.8	26.7	8 936
Germany	16 000	19.8	13 667	16.8	12 858	15.6	14 051	17.0	13 293	16.1	16.8	13 529
Greece	349	3.2	466	4.3	735	6.8	672	6.2	640	6.0	6.3	649
Hungary	5 249	53.1	4 894	49.7	4 722	48.0	3 922	40.0	4 161	42.6	44.3	4 640
Iceland	40	12.3	44	13.4	39	11.7	64	18.9	63	18.1	19.3	63
Ireland	259	5.6	270	5.8	299	6.3	379	7.9	352	7.3	7.2	367
Italy	4 467	7.3	3 825	6.3	4 134	6.8	3 347	5.5	3 635	6.0	6.3	3 656
Latvia	278	13.9	380	19.1	454	23.1	225	11.5	409	21.1	21.1	439
Liechtenstein	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Lithuania	1 145	38.9	1 082	37.0	1 076	37.3	1 005	35.3	779	27.7	27.6	793
Luxembourg	110	20.0	106	18.8	108	18.7	118	20.0	135	22.4	22.5	135
Malta	132	30.7	126	28.7	162	36.0	107	23.2	116	24.4	25.7	116
Netherlands	970	9.0	974	9.0	1 150	10.6	954	8.7	1 061	9.6	9.7	1 061
Norway	1 118	21.9	928	18.0	865	16.6	992	18.9	961	18.1	18.3	961
Poland	8 042	21.2	8 245	21.7	9 718	25.6	8 921	23.5	9 064	23.9	24.9	9 651
Portugal	244	2.3	325	3.1	376	3.6	462	4.5	302	2.9	3.2	322
Romania	1 512	7.6	1 330	6.7	1 479	7.5	1 154	5.9	1 410	7.2	7.4	1 443
Slovakia	4 078	75.3	4 841	89.3	5 299	97.7	5 789	106.5	6 791	124.8	127.6	7 222
Slovenia	597	29.0	401	19.4	311	15.1	275	13.3	274	13.3	13.6	274
Spain	6 633	-	9 015	-	9 818	-	9 426	-	8 730	-	-	8 730
Sweden	2 211	22.9	2 312	23.7	2 247	22.8	2 280	22.8	2 041	20.2	20.3	2 041

(次ページに続く)



表 1（続き）：国別・年別のサルモネラ症確定患者数および人口 10 万人あたりの報告率（EU/EEA、2014～2018 年）

Country	2014		2015		2016		2017		2018			
	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Confirmed cases	Rate	ASR	Reported cases
United Kingdom	8 099	12.6	9 490	14.6	9 900	15.1	10 108	15.4	9 466	14.3	14.2	9 466
EU/EEA	93 170	20.7	95 449	21.0	95 329	20.4	92 646	19.6	92 881	20.0	20.3	95 227

情報源：各国の報告書

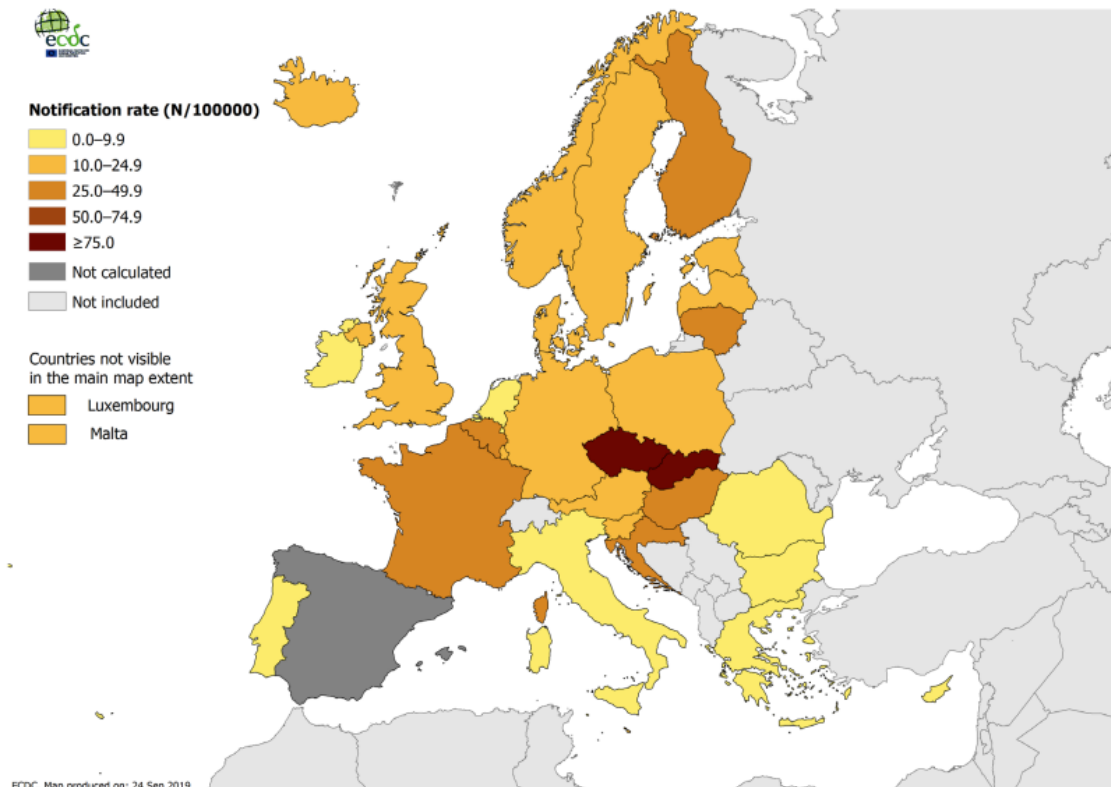
ASR：年齢標準化報告率

「.」：データの報告なし

「-」：報告率未計算

図 1：サルモネラ症確定患者の人口 10 万人あたりの報告率の国別分布 (EU/EEA、2018 年)

Figure 1. Distribution of confirmed salmonellosis cases per 100 000 population by country, EU/EEA, 2018



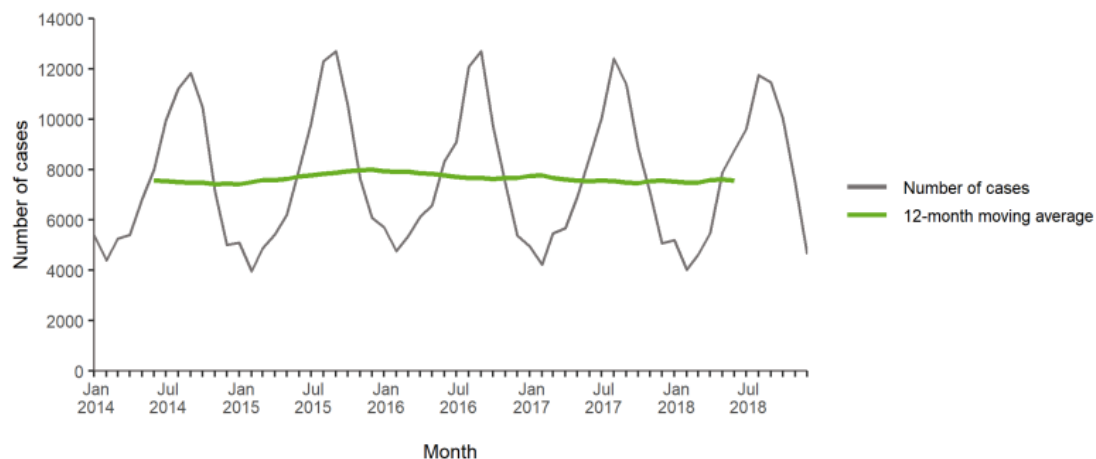
Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, Sweden, the United Kingdom.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デン

マーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国の各国の報告書)

図 2：サルモネラ症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2014～2018 年）

**Figure 2. Distribution of confirmed salmonellosis cases by month, EU/EEA, 2014–2018**

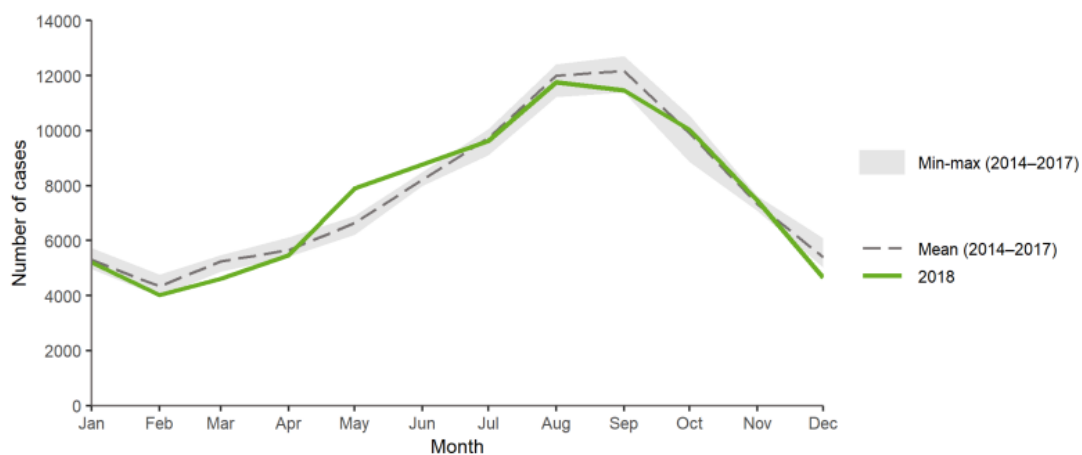


*Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, Sweden, the United Kingdom.*

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国の各国の報告書)

図 3：サルモネラ症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2014～2017 年の平均および 2018 年）

**Figure 3. Distribution of confirmed salmonellosis cases by month, EU/EEA, 2014–2017 and 2018**

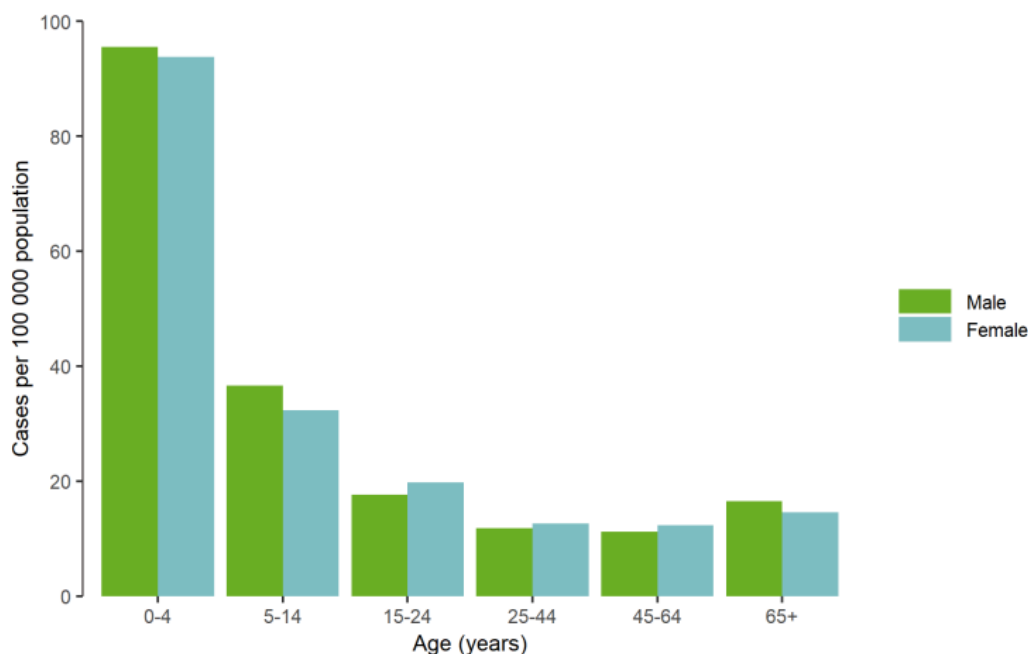


Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, Sweden, the United Kingdom.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国の各国の報告書)

図 4：サルモネラ症確定患者の人口 10 万人あたりの報告率の年齢層別・性別分布 (EU/EEA、2018 年)

**Figure 4. Distribution of confirmed salmonellosis cases per 100 000 population, by age and gender, EU/EEA, 2018**



Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, Sweden, the United Kingdom.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国の各国の報告書)

(食品安全情報 (微生物) No.10/2020 (2020.05.13)、No.9/2019 (2019.04.26) ECDC 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

[https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-](https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive)

[agencies/health-and-food-safety\\_en](#)

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

[https://food.ec.europa.eu/safety/rasff\\_en](https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en)

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2023年3月7~20日の主な通知内容

#### 警報通知 (Alert Notification)

フランス産チーズの志賀毒素産生性大腸菌、イタリア産馬肉製品 (sfilacci) のリステリア (*L. monocytogenes*)、ラトビア産鶏肉のサルモネラ、ポーランド産豚耳のサルモネラ属菌、イタリア産冷凍牛肉パテのサルモネラ (*S. Dublin*) など。

#### 注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ラトビア産冷蔵ブロイラー肉のサルモネラ (*S. Mbandaka*)、クロアチア産二枚貝 (*Venus verrucosa*) のノロウイルス (GII、2g 検体陽性)、トルコ産マイルドパプリカパウダーのサルモネラ、ポーランド産 (リトアニア経由) 冷蔵鶏骨付きもも肉のサルモネラ (*S. Bovismorbificans*、25g 検体 1/5 陽性)、オランダ産イガいのサルモネラ、フランス産 (オランダ経由) 牡蠣のノロウイルス、ポーランド産冷蔵鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*、25g 検体陽性)、ポーランド産牛肉タルタルのベロ毒素産生性大腸菌、ベルギー産家禽肉製品のサルモネラ、ラトビア産冷蔵鶏脚肉 (骨付き) のサルモネラ (*S. Bovismorbificans*)、フランス産牡蠣のノロウイルス (GI、GII)、ラトビア産冷蔵鶏手羽肉のサルモネラ (*S. Bovismorbificans*)、ウクライナ産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Mbandaka*)、ポーランド産 (ドイツ経由) 鶏もも肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、トルコ産アマトウガラシのサルモネラ (*S. Chester*)、オランダ産牡蠣のノロウイルスによる食品由来アウトブレイクの疑いなど。

#### フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

ハンガリー産冷凍鴨むね肉のサルモネラ (*S. Kottbus*)・カンピロバクター属菌・リステリア (*L. monocytogenes*)、オーストリア産ペット用飼料原料 (干し草) の微生物汚染、フラ

ンス産牡蠣（むき身）のノロウイルス、バングラデシュ産（オランダ経由）冷凍エビのサルモネラ属菌等、リトアニア産（オランダ経由）冷凍豚小腸のサルモネラ、オランダ産馬肉ミール（ベルギー産ドッグフード用）のサルモネラ（*S. Derby*）、ドイツ産菜種ミールのサルモネラ（*S. Liverpool*）、ポーランド産の生鮮家禽肉のサルモネラ（*S. Newport*）とカンピロバクター、インド産イヌ用餌の腸内細菌科菌群、ドイツ産ケバブ（スライス）のリストeria など。

#### 通関拒否通知（Border Rejection Notification）

インド産イヌ用餌の腸内細菌科菌群、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ、エクアドル産バナメイエビのコレラ菌、ブラジル産黒コショウのサルモネラ属菌、ナイジェリア産ガリ（キャッサバ粉）の害虫、タイ産ジャスミン米（積荷）の齧歯類（活動の痕跡）、エクアドル産冷凍エビのコレラ菌など。

---

#### ● 欧州食品安全機関（EFSA: European Food Safety Authority）

<https://www.efsa.europa.eu/en>

#### 牛海綿状脳症（BSE）および伝達性海綿状脳症（TSE）に関する科学ネットワークの 2022 年次報告書

Annual Report of the Scientific Network on BSE - TSE 2022

10 November 2022

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/sp.efsa.2022.EN-7656>（報告書 PDF）

<https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-7656>

欧州食品安全機関（EFSA）は、職務の一環として、活動の調整による科学協力の枠組み作り、情報交換、共同プロジェクトの策定・実施、専門知識の共有および最良実施規範を推進するため、欧州委員会（EC）規則 No.178/2002 に従い、管轄分野内の活動機関のネットワークシステムを構築している。今回報告書を発表した「牛海綿状脳症（BSE）およびその他の伝達性海綿状脳症（TSE）に関する EFSA の科学ネットワーク（EFSA Scientific Network on BSE - TSE）」は 2006 年に構築され、2022 年 10 月 13～14 日に第 17 回年次会議をオンラインおよび対面のハイブリッド形式で開催した。この会議は、BSE-TSE に関する問題について、欧州連合（EU）加盟国、欧州自由貿易連合（EFTA）加盟国、EU 加盟候補国、EFSA、EC および特別参加者（2022 年の会議には国際獣疫事務局（WOAH : World Organisation for Animal Health【编者注：2022 年に OIE（Office International des

Epizooties) より略称変更】の代表者が参加) が科学的知見を共有する好機となった。この第 17 回会議で検討された主な議題は以下の通りであった。

- ・ 北米およびノルウェーにおける慢性消耗病 (CWD) の状況・サーベイランスに関する最新情報
- ・ 欧州における CWD 新興株の分子的特性
- ・ L 型 BSE に関する飼料規制の効果
- ・ ヒト以外の霊長類を用いてプリオンの伝達性・病原性・抵抗性を評価する実験モデルの功績
- ・ 欧州における BSE-TSE ネットワーク・TSE に関するオンラインのリアルタイムパルスサーベイ
- ・ EFSA、WOAH (OIE) および EC が TSE に関して最近行った活動および継続している活動
- ・ TSE に関する 2021 年次 EU 要約報告書の予備的結果

(食品安全情報 (微生物) No.3 / 2017 (2017.02.01) EFSA 記事参照)

---

● アイルランド保健サーベイランスセンター (HPSC Ireland: Health Protection Surveillance Centre, Ireland)

<https://www.hpsc.ie>

アイルランドでノロウイルス感染患者数が増加傾向

Norovirus cases on the rise in Ireland

Published: March 21, 2023

<https://www.hpsc.ie/news/title-23010-en.html>

アイルランドでノロウイルス感染患者数が増加していることから、アイルランドの医療サービス当局 (HSE) およびアイルランド保健サーベイランスセンター (HPSC Ireland) は、ノロウイルス感染の症状に注意し感染拡大防止に役立つ方法を習得するよう消費者に求めている。

アイルランドでは、2023 年第 1~10 週に計 394 人のノロウイルス感染患者が報告された。これは 2022 年の同期間に報告された患者数 (計 109 人) の約 4 倍である。乳幼児と高齢者が患者の大多数を占めており、患者の 50% が 65 歳以上、28% が 5 歳未満である。

ノロウイルスは、ヒトーヒト感染により非常に拡散しやすく、様々な物の表面で長時間生存するため、ノロウイルスに汚染された表面に接触した手で口に触れることで感染する可能性がある。ノロウイルス感染予防の最も効果的な対策は石鹼と水による手指の洗浄であり、アルコールハンドジェルにはノロウイルス感染を予防する効果がないことに注意する必要がある。

ノロウイルスに感染した場合は外出・出勤・登校をせず、症状の消失後 48 時間が経過するまでは介護施設や病院も利用すべきでない。健康被害を受けやすい人など他の人を保護するためには、これが最も効果的な方法である。自分や家族が激しい嘔吐症状を呈している場合は、事前連絡をせずに医療機関を受診してはならない。ノロウイルス感染は避けられないことが多いが、感染者の周りで衛生管理を適切に講じることで、周囲の人の感染リスクを低減できる。

#### ノロウイルスの拡散を防止するための助言

- ・ 食品の喫食や調理およびトイレの使用後などに頻繁に手を洗う。
- ・ 患者が発生した際は直ちに家庭用漂白洗剤で汚染表面を十分に洗浄および消毒する。
- ・ 患者が発生した際はウイルス汚染の可能性がある衣類や寝具類を速やかに交換して洗濯する（熱い湯と石鹼を使用）。
- ・ 吐瀉物はすべてトイレに流すか廃棄し、汚染場所と周囲は清潔な状態を確保する。

ノロウイルス感染の症状は通常は軽症であり、持続期間は 1～2 日間のみであるが、乳幼児や高齢者は重症化する可能性がある。ノロウイルス感染患者は、症状が消失した後も引き続き感染を拡散させる可能性があり、ノロウイルス感染には治療薬がない。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる行動制限の結果、過去数年間はノロウイルス感染患者の報告数が非常に少なかったが、直近数カ月間は再び増加し始めている。米国および英国では多くのノロウイルス感染患者数が報告されており、さらに増加していることから、アイルランドのノロウイルス感染患者数も増加が続く可能性がある。

---

#### ● ProMED-mail

<https://promedmail.org>

#### コレラ、下痢、赤痢最新情報 (07)

Cholera, diarrhea & dysentery update (07)

11 March 2023



コレラ（AWD：急性水様性下痢）

国名	報告日	発生場所	期間	患者数	死亡者数
ハイチ	3/3	全 10 県	2/28 時点	(疑い)累計 33,661 (確定)累計 2,439	
ドミニカ	3/3		2/17 付報告～	12	
				累計 88 (うち 71 は首都サン トドミンゴ市)	
シリア	3/8	全 14 県*	2022/8/25 ～ 2023/2/15	(死亡者含む疑い) 計 92,649	計 101
		同上	2023/1/21** ～ 2/15	(死亡者含む疑い) 計 8,042	
モザンビーク	2/24	6 州の 29 地区†	2022/9/14 ～ 2023/2/19	(疑い)計 5,237	計 37
				182 検体以上のうち 99 検体陽性	
ジンバブエ	3/8	3 地域‡	2/12～	(疑い)計 60 (うち確定 5)	0 (3/6 時点)
南スーダン	3/3	上ナイル州マラ カル市	2/22～	(死亡者含む)179	1
マラウイ	3/7	全 29 地域	3/2 までの約 1 年間強	計 50,000 以上	計 1,500 以上
南アフリカ 共和国	3/1		3/1 に確認	6 <sup>¶</sup>	1

\* 患者数が多い上位 4 県：イドリブ県 (27,863 人)、アレppo県 (22,123)、デリゾール県 (20,671)、ラッカ県 (17,578)

\*\* 食品安全情報 (微生物) No.5 / 2023 (2023.01.21) ProMED 記事参照

† 州別の患者数および死亡者数：2022 年 12 月～2023/2/19；ニアッサ州 (患者 2,525 人、死亡者 16 人)、ソファアラ州 (患者 1,354、死亡者 3)、テテ州 (患者 1,271、死亡者 12)、期間不明；ザンベジア州 (患者 14 人)、ガザ州 (患者 42、死亡者 4)、マニカ州 (患者 34、死亡者 2)

‡ Chegutu (58 人)、Mudzi (1)、Mutare (1)

¶ このうち 2 人はマラウイ旅行で感染、帰国後にその家族 1 人が感染

---

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室